

令和8年度(2026)年間指導計画【総合・大雪研究】2学年

【基本情報】

教 科	総合	学 年	2
科 目	大雪研究	単位数	2
科目の目標	・地域の教育資源を活用しながら、自己の在り方生き方を考え、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育む。 ・課題の発見・解決とその発表を通して、地域や社会に貢献できる力を育む。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学習の態度
評価の規準	・地域や自然との関わりについての理解を深め、科学的・客観的に探究するために必要な知識・技能が身に付いている。	・実地での調査・観察を通し、自ら課題を発見・解決することができる。 ・課題を解決するために必要な情報を選択・分析・判断できる。	・探究活動全般に主体的に関わり取り組むことができる。 ・様々な活動を通し、自己を理解するとともに、他者を尊重することができる。

【年間指導計画】

	時数	単元	指導内容	備考
前期	34	①4月：『探究活動の基本』 ・探究とは ・1年間の進め方 ②5月：『上川町探索』 ・上川町を深く知る ③6月～8月：『個人探究活動①』 ・上川町の課題や問題点を考える ・課題解決に向けて調査を行う ④9月『中間報告』 ・これまで活動を行ったものについて発表を行う	・改めて探究活動とはどのような活動か理解を深める。 ・課題発見に向けて、地域の状況について調べさせる。 ・上川町の課題等を模索させ、解決に向けて何が必要かを考えさせる。 ・地域で調査等を行う。 ・地域の方との関りを通して、社会性やコミュニケーション能力を育成する。 ・前期の活動の振り返りを行い、新たな課題発見につなげる。	
後期	36	⑤10月～12月：『個人探究活動②』 ・前期の活動を基に、新たな課題を見つけ探究する ⑥12月：『活動報告会』 ・これまでの活動について、自分で振り返るとともに、他者に伝える ⑦1月～2月：『現地活動』 ・自ら考えて解決方法などを現地の方と実際に取り組む ⑧3月：『1年間の学習のまとめ』	・個人探究活動①での指導に加え、違った視点でのアプローチを考えさせる。 ・自らの学びを他者にわかりやすく伝える表現方法を身に付けさせる。 ・課題解決に向けた方策を形にできるように活動を行う。	
計	70			